

まちづくりアンケート調査結果(概要)をお知らせします。

今年8月に実施しました第5次朝日町総合計画策定のための「まちづくりアンケート調査」につきましては、多くの皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

この度、調査結果について報告書を取りまとめましたので、その概要をお知らせします。なお、詳細について知りたい方は、結果報告書を公共施設に置いていますので、お立ち寄りくださいますようお願いいたします。

調査の概要

総合計画とは？

総合計画とは、わたしたちのまち、朝日町をさらに住みよい町にするために、向こう10年間のまちづくりの方針となるものです。第5次総合計画は平成23年度から平成32年度の計画になります。

閲覧場所

総務税務課窓口 保健福祉センター窓口
教育文化施設窓口 朝日町公民館窓口

調査方法及び回収結果

調査方法		回収結果	
調査対象	20歳以上の町民 (無作為抽出)	配布数	2,300
調査方法	郵送法	有効回収数	1,040
調査時期	平成21年8月	有効回収率	45.2%

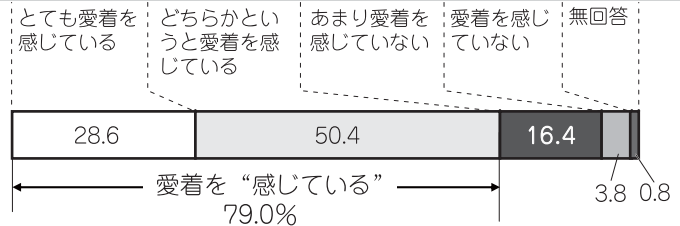
回答者の属性

回答者の属性				
性別	男性	48.6%	女性	50.7%
年齢	20代	7.2%	50代	12.1%
	30代	30.5%	60代	19.4%
	40代	14.6%	70歳以上	15.8%

調査結果

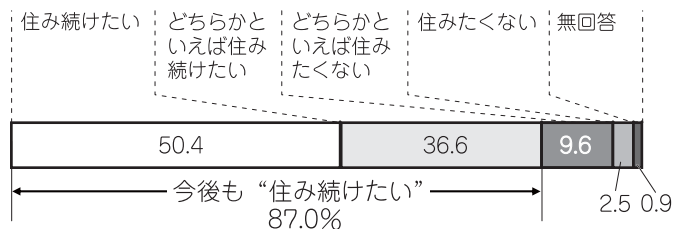
まちへの愛着について ～約8割の人が「愛着を感じている」～

町に対する愛着度をたずねたところ、愛着を「どちらかといえば感じている」と回答した人が50.4%と最も多く、「感じている」(28.6%)をあわせた“愛着を感じている”という人が79.0%と約8割を占め、非常に愛着度が高い結果となっています。



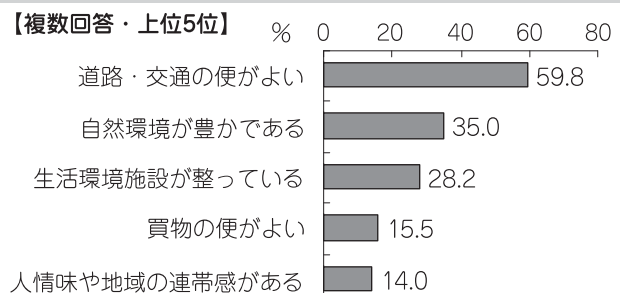
今後の定住意向について ～9割近くの人が今後も住み続けたいと回答～

今後も朝日町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と回答した人が50.4%と約半数を占め、これに「どちらかといえば住み続けたい」(36.6%)をあわせた“住み続けたい”という意向を持つ人が87.0%と9割近くに達します。



まちの魅力について ～「道路・交通の便がよい」が第1位～

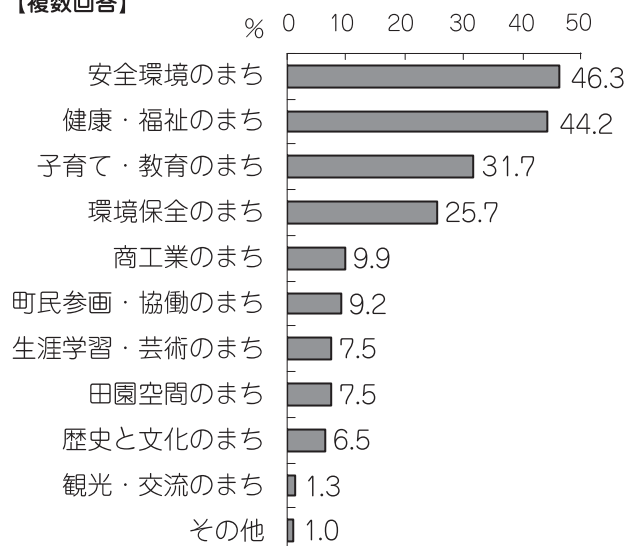
朝日町のまちの魅力についてたずねたところ、「道路・交通の便がよい」(59.8%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「自然環境が豊かである」(35.0%)、「生活環境施設が整っている」(28.2%)が続き、交通立地条件のよさを中心に、自然環境、生活環境が魅力の上位に挙げられています。



今後のまちづくりの特色について ～「安全環境のまち」が第1位～

どのような特色のあるまちにすべきかについては、「安全環境のまち」(46.3%)及び「健康・福祉のまち」(44.2%)が他を引き離して上位を占め、次いで「子育て・教育のまち」(31.7%)、「環境保全のまち」(25.7%)が続きます。

【複数回答】



また、年齢別での上位回答をみると、30代では「子育て・教育のまち」、50代以上では「健康・福祉のまち」が第1位となっています。

年齢別	上位回答
20代	①安全環境のまち②子育て・教育のまち ③健康・福祉のまち
30代	①子育て・教育のまち②安全環境のまち ③健康・福祉のまち
40代	①安全環境のまち②健康・福祉のまち 子育て・教育のまち
50代	①健康・福祉のまち②安全環境のまち ③環境保全のまち
60代	①健康・福祉のまち②安全環境のまち ③環境保全のまち
70歳以上	①健康・福祉のまち②安全環境のまち ③環境保全のまち

分野別の満足度と重要度

朝日町の各環境について、その満足度と今後の重要度を把握するため、各分野にわたる44項目を評価していただきました。

満足度の高い項目は、第1位が「上下水道の整備」(3.71点)、第2位が「環境とリサイクルの推進」(1.53点)、第3位が「墓地の整備」(1.49点)となっています。一方、満足度の低い項目は第1位が「商業の振興」(-2.58点)、第2位が「公園・緑化の整備」(-1.73点)、第3位が「工業の振興」(-1.24点)となっています。

■満足度上位項目		■満足度下位項目	
第1位	上下水道の整備 (3.71点)	第1位	商業の振興 (-2.58点)
第2位	環境とリサイクルの推進 (1.53点)	第2位	公園・緑化の整備 (-1.73点)
第3位	墓地の整備 (1.49点)	第3位	工業の振興 (-1.24点)
第4位	道路網・公共交通の整備 (1.47点)	第4位	新しい地場産業の創造 (-1.11点)
第5位	保健・予防の推進 (1.20点)	第5位	財政の運営 (-0.81点)

今後の重要度の高い項目は、第1位が「環境とリサイクルの推進」(5.41点)、第2位が「住環境の整備」(5.21点)、第3位が「交通安全・防犯対策の充実」(5.18点)と続き、以下、「義務教育の充実」(5.02点)、「医療体制の充実」(4.97点)の順となっています。

■重要度上位項目	
第1位	環境とリサイクルの推進 (5.41点)
第2位	住環境の整備 (5.21点)
第3位	交通安全・防犯対策の充実 (5.18点)
第4位	義務教育の充実 (5.02点)
第5位	医療体制の充実 (4.97点)

